

伝国の杜だより

VOL. 50

開館25周年記念号

伝国の杜開館25周年記念 事業特集！

P2 新収蔵「翁面」&能公演

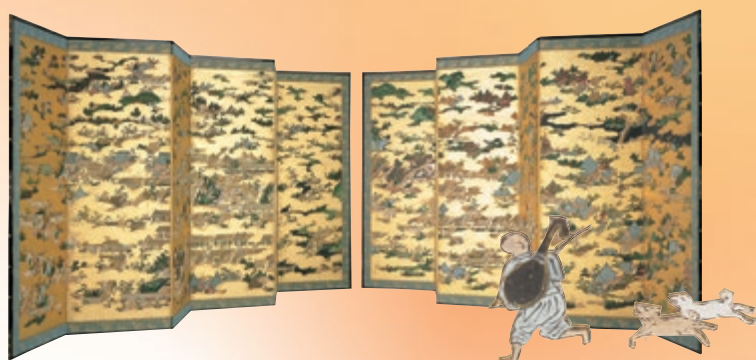
P3 博物館教育普及事業・学芸ノート

フルカラーでお届け！

P4.5 伝国の杜 下半期事業ラインナップ

P6.7 伝国の杜通信

P8 伝国の杜カレンダー2026年度下半期
座の文化伝承館からのお知らせ



国宝 上杉本洛中洛外図屏風原本展示
2026年9月19日(土)～10月18日(日)



「おや、立派な能舞台！」

伝国の杜開館25周年記念 事業特集!

上杉家伝来の翁面、ふたたび米沢へ一開館25周年を祝う特別公演「翁」一

からくさまきえおきなめんぼこ

博物館ではこの度、上杉家に伝来した翁面二面と唐草蒔絵翁面箱、さらに旧蔵を示す貼札が残る外箱一式を収蔵しました。これらは、昭和4年(1929年)に撮影された上杉家所蔵能面の古写真にもその姿が確認されるほか、外箱には「先祖伝来」「翁面箱」と記された貼札が残されており、代々上杉家で大切に受け継がれてきたことを今に伝えています。

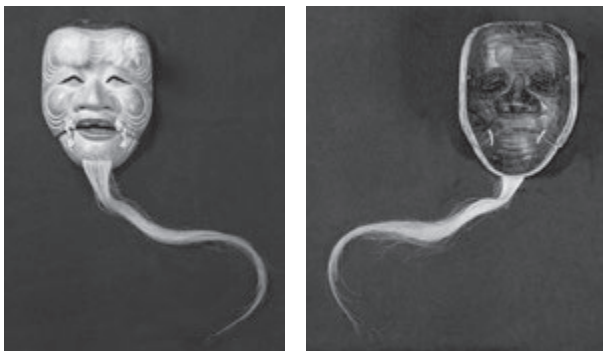
この貴重な資料の初披露として、11月3日、伝国の杜能舞台において金剛流宗家(人間国宝)による「翁」を上演します。「翁」は、能のなかでも最も古い演目の一つであり、天下泰平、五穀豊穰、国家安泰、人々の幸福を祈る特別な祝言曲です。物語を演じる能とは趣を異にし、神事としての性格を色濃く残す、日本の舞台芸術の原点ともいわれています。伝国の杜でも、開館時に能舞台こけら落とし公演として「翁」が演じられ、新たな文化施設の門出を祝いました。

そして開館25周年となる今年、「翁」が再び上演されます。今回の公演では、約一世紀ぶりに米沢へ里帰りした上杉家伝来の翁面を実際に着用して舞が披露されます。能の世界では、室町時代や江戸時代に制作された古い能面が、各流派で代々受け継がれ、修理や手入れを重ねながら現在も舞台上で使われています。

能面は美術品であると同時に、「使い継ぐ文化財」として命を受け継いできました。一方、博物館では、文化財を未来へ伝えるため保存を第一とし、収蔵品を展示以外で使用する機会はほとんどありません。

当館においても収蔵した文化財を舞台上で用いるのは今回が初めての試みとなります。上演にあたっては、面打ち師による事前・事後の点検とメンテナンスを行い、文化財としての保存と伝統芸能としての継承の両立を図ります。長い歴史の中で受け継がれてきた能の文化と、博物館の保存管理の理念を重ね合わせながら実施する、開館25周年ならではの特別な取り組みです。

文化財は、守り伝えるだけでなく、本来の役割を果たすことで、その価値をより深く私たちに伝えてくれます。上杉家が大切に守り継いできた翁面が、再び米沢の能舞台で祝福の舞を支える——このような機会は極めて稀です。開館25周年という記念すべき年に実現する歴史的な舞台をぜひ多くの皆様にご覧いただきたいと思います。過去から受け継いだ文化を未来へつなぐ。その使命を改めて感じる25周年の秋となります。



能面 白式尉 洞白 出目満喬作 焼印有 江戸時代初期

収蔵した2面の内の1面を使用します。

① 能面外箱 ② 唐草蒔絵翁面箱 ③ 中啓 ④ 白式尉 甫閑 出目満喬 (江戸時代中期) か
⑤ 白式尉 洞白 出目満喬 (江戸時代初期)

神事能「翁」をぜひ一度体験してみて

開館25周年記念自主事業

「上杉家旧蔵の翁で寿ぐ能・狂言」11月3日(火)祝 13:30開演

こけら落としから25周年の節目を祝う公演として、新収蔵品の白色尉(翁面)を使う能「翁」と、能一番、狂言一番を上演します。

翁面は、面箱に入った状態で能舞台へと運び入れられ、翁の役を演じる能楽師は能面を付けない直面(ひためん)で登場します。能面は、観客の見守る中でつけられ、翁が祈りを舞い、人と世の未来を寿ぐ、この儀式的な番組は能楽の原点といわれます。



平和と安寧の未来へ誘う納「翁」

向きや、照明が生むわずかな陰影など幾重の作用が重なり、多彩な表情を作り出す能面にご注目ください。

〔番組〕

金剛流 能「翁」 翁：金剛永謹(人間国宝) 三番叟：野村万之丞 千歳：野村真之介

天下泰平・国土安穩を祈る儀式的な演目。翁が荘重に舞い、祝福と祈りを捧げる能の原点。

和泉流 狂言「福の神」 福の神：野村拳之介

年の暮れ、出雲大社で新年を迎える二人の参詣人が、福の神が祭られている前で「福は内」と豆をまくと、大きな笑い声とともに福の神が現れて…。

金剛流 能「乱」 猩々：金剛龍謹

能「猩々」に小書(特殊演出)がついた、猩々が酒を讀えつつ舞い遊ぶ、華やかでめでたい祝言の能。

指定席 一般 4,500円 学生 2,500円
自由席 一般 3,500円 学生 2,000円



能「翁」



狂言「福の神」

教育普及事業

Hands & Heart ～手とこころでかんじよう～

PS プレイシヨップ×造形

●申し込み不要（入室定員20名）※団体利用は要事前予約。
休館日は年間カレンダー、HPでご確認下さい。

	9月26日(土)～10月21日(水) ハニカムシートでつくろう はちの巣みたいなハニカムペーパーで立体的な作品をつくろう	手 わ げ 房 の
	10月23日(金)～11月24日(火) モールでつくろう 針金で自由にまがるモールを使ってクリスマス飾りをつくります	「 編 む 織 る 」
	11月27日(金)～12月16日(水) 粘土で刀の折り返し鍛錬に挑戦！ 刀の「肌模様」をつくる「折り返し鍛錬」のしくみ発見	
	12月18日(金)～22日(火)、1月2日(土)～1月26日(火) 紙でつくるいろいろものいれ 1枚の紙から、袋や箱をつくってみよう	簡 単 織 り き や 竹 組 あ み を 体 験 で き ま す。
	1月29日(金)～2月24日(水) 紙でつくるおひなさま 紙でひなにんぎょうをつくろう	
	2月26日(金)～3月24日(水) 簡単版画をつくろう（スチレン版画） やわらかいスチレンボードで簡単な版画に挑戦	

ワークショップ (募集制)

紙はどうやってできている？

たのしい紙すき



牛乳パックのバルブを使って
紙すきに挑戦しましょう。

10月4日(日) 13:30～16:00
対 象：小学生以上 15名
参加費：500円
申込：9/2(水)～

●要事前申し込み
場所：ナイトツアーは展示室
そのほかは体験学習室集合

だれもしらない博物館
博物館バックヤードツアー



普段は入ることのできない博
物館の裏側、のぞいてみさせ
んか。

11月3日(火祝) 10:00～12:00
対 象：どなたでも15名
参加費：500円
申込：9/30(水)～

ナイツアー ようき夜の博物館へ
入門 日本刀鑑賞

刀の見方を分かりやすく紹介する初心者
向けの入門講座です。



12月18日(金) 19:00～20:30
対 象：どなたでも20名
(中学生以下は保護者同伴)
参加費：500円
申込：11/18(水)～

美しい日本の技
漆芸の技に挑戦！

日本の伝統工芸についての理解を深める
またとない機会です。



講師：三田村有純氏
(漆芸家・芸術院会員・東京藝術大学
名誉教授)
2027年1月9日(土)
13:30～16:00
対 象：小学生以上15名
参加費：1000円
申込：12/9(水)～

ワークショップ (自由参加制)

むかしむかしをきこう

語り：米沢とんと昔の会

10月10日(土) 10:30～13:30～

体験学習室 ※申込不要・参加無料

あたたかい昔語りを
聞いてみませんか？
楽しい方言解説も！



レジンの宇宙
地球ペンダントをつくろう

レジンで美しい地球を作ってみよう！



2月21日(日) 13:30～16:00
対 象：小学生以上15名
参加費：500円
申込：1/20(水)～

お問合せ 0238-26-8001(教育普及担当)

出前授業やミュージアムス
クールについてはこちらから→



デルポレン
キャラクターズ

活動紹介



川中島の展示を見た後に
中胃を試着。



陶器と磁器の違いを調べ中。

R7年度テーマ
「展示をわかりやすく
伝える工夫をしよう」

今年度は、小学4
年生から大学生まで
9名のこども学芸員
が活動中です。
さまざまな体験を通
して、博物館と学芸
員の仕事を楽しく学
んでいます。

収 蔵 品

学芸ノートから

はまだ はまお
浜田浜雄「作品名未詳」、「ドローイング」

米沢市出身の浜田浜雄(1915～1994)は、戦前はシュルレアリスム(超現実主義)に深く傾倒した幻想的な絵画を描き、前衛美術に身を投じました。戦後は新しい絵画表現を模索しますが、思うような成果が得られず、徐々に絵画からデザインの仕事へと軸足を移していきます。ここにあげた2点は浜田が絵画での様々な表現技法を試みていた頃の作品です。2点には共通する曲線の形態が見られますが、一方は単色で線描中心、もう一方は着色され植物など有機的なモチーフに発展しています。形態と色彩、抽象と具象。試行錯誤する浜田の思考は、当時の日記にもよく表れています。

「昨日渡辺氏は僕の色彩は実に美しいと思ふが形はよくない、イージーだと思ふと云ふ。色には苦心の跡がわかるが形はそれが認められない、と。マキはその反対だと云ふ。形態の美しさが色彩の不適當なために却ってその形態の良さまで害ってあると。僕は、マキの意見の方が適確だと思ふ。フォルムに対するセンスに自信はある。と云ってももちろん色彩よりはという意味であるが。」
(浜田浜雄の日記 1951年4月10日)

※こちらの作品は10月23日(金)～令和9年1月27日(水)の期間

ナセBAオープンギャラリーの小企画「かたちといろ」にて展示します。



「作品名未詳」 1951(昭和26年)
キャンバス・油彩 60.6×45.5



「ドローイング」 1951(昭和26年)
紙・ペン 27.7×22.0

展覧会PICKUP!

開館25周年記念特別展

上杉鷹山と米沢の学び舎 —藩校「興譲館」から近代の学校へ—

会 期 前 期 9月19日(土)～10月18日(日) 後 期 10月24日(土)～11月23日(月・祝)

休館日 9月24日(水)、10月28日(水) 展示替 10月19日(月)～23日(金)

料 金 一般800円(640円) 高大生300円(240円) **小中生無料** ※()は20名以上の団体料金

後 援 山形県立米沢興譲館高等学校・藩校興譲館創立250年記念事業実行委員会・山形大学工学部・米沢工業会(山形大学工学部同窓会)

米沢の「学校の原点」を知る！

安永5年(1776)、第9代米沢藩主上杉鷹山は藩政改革の柱として藩校「興譲館」を設置し、士風の刷新と人材育成を図りました。興譲館は幕末維新期に至るまで、藩政の中核を担う重臣や有能な役人、学者など、多彩な人材を数多く輩出しました。明治維新後、同校の伝統と名称は、米沢中学校(現・米沢興譲館高校)へと継承されました。また、鷹山に象徴される学問重視の気風は、興譲小学校や、米沢高等工業学校(現・山形大学工学部)など、市内のいくつもの学校に受け継がれました。藩校「興譲館」創立250年を記念する本展では、学校の制度に加え、個々人にとっての学ぶ意味や、学問を通じた人脈にも注目し、鷹山と師・細井平洲の関係、武士の学習とキャリア形成の実例、明治期における学校教育の様子などを取り上げます。

今も掲げられる殿様の書

上杉齊憲書「興譲館」扁額(山形県立米沢興譲館高校蔵)



1.7メートルの絵馬

学問・武芸図絵馬

(川西町玉庭・両皇大神宮蔵)



関連事業

講演会 11/14(土) 14:00～

「学校の文化資源

—「歴史を語るモノ」を超えて—

講師：和崎光太郎氏(桜の聖母短期大学教授・
元京都市学校歴史博物館学芸員)

場所：伝国の杜2階大会議室

定員：先着80名 **聴講無料！**

ギャラリートーク

申込不要、要特別展入館料

9/19(土) 14:00～

「上杉鷹山・細井平洲と
藩校興譲館の教育」

10/24(土) 10:00～

「江戸時代の藩校から
近代の学校へ」

※開始時間にご注意ください。



西洋服飾史レプリカ
(山形県立米沢女子短期大学蔵)



米沢中学校校舎外観写真(部分)(山形県立米沢興譲館高校蔵)

*掲載資料は、いずれも前期展示(予定) *展示期間は変更になる可能性があります。

置賜文化ホール

10/11(日) おきたまの秋空に響かせたい！ 吹奏楽の日コンサート 2026

10:10開演(9:40内奏開場、15:30庭奏終了予定)

会場：ホール&ピロティ 全席自由/入場無料

今年は置賜各地から 21 団体が出演エントリー！

置賜地域の中高生や社会人吹奏楽団が次々に出演して演奏を披露します。ホールでの「内奏」は、音が豊かに響く客席で、屋外での「庭奏」は、解放感たっぷりのピロティ特設会場でピクニックのようにお楽しみください。2会場ともに、演奏の合間は入退場できますので、ぜひお気に入りの音楽を探してみてください。



内奏ステージでの演奏



庭奏ステージでの演奏

11/21(土) 能の客席ケンショで聴く LIVE！ KENSYO de JAZZ

18:30開演(18:00開場、20:30終演予定)

会場：エントランスホール

ビギナー向け「ジャズ鑑賞講座」同日開催！

小山田和則(サクソ)、佐藤拓也(ピアノ)、斎藤潤(ベース)、今村陽太郎(ドラム)のSo Soul Stateが登場。On Green Dolphin StreetやMy Favorite Thingsなど、耳馴染みのあるスタンダードナンバーを中心にお届け。さらに当館初開催の「ジャズ鑑賞講座」は小山田和則が講師を務め、テーマやアドリブなど曲の構成とジャズの歴史を紹介。ぜひお申込みください!!

10/1(木)
受付開始

〔ライブチケット〕
全席自由/定員100名
一般 2,500円
学生 1,000円
〔ジャズ鑑賞講座〕
定員20名程度
参加無料



前回のライブの様子

開館25周年記念企画展

郷土刀の世界—刃に、美を継ぐ—

会 期 12月5日(土)～令和9年1月17日(日)
休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、
年末年始(12/27～1/1)
料 金 一般 590(470)円
高大生 390(310)円
小中生 240(190)円
※()は20名以上の団体料金

学術監修 井本悠紀氏
(國學院大學大学院文学研究科兼任講師)
協 力 公益財団法人日本美術刀剣保存協会・
刀剣博物館
日本美術刀剣保存協会 米沢支部

郷土刀工の美意識に迫る

武器として生まれ、美術品や文化財へと昇華した日本刀。「折れず、曲がらず、よく切れる」といった優れた機能性と、時代ごとの美意識を映す造形美は、多くの人を魅了してきました。本展では、新々刀の祖・水心子正秀をはじめ、置賜ゆかりの刀工や米沢藩工、上杉家伝来の名刀を展示。玉鋼から刀剣1口が完成するまでの制作工程や刀工、研師、鞘師らの卓越した技にも焦点を当て、地域に息づく刀剣文化の魅力を紹介します。

向かって左から
刀 銘 為村重君 石堂運寿は一精鍛造之
嘉永七年甲寅歳二月日
(公益財団法人日本美術
刀剣保存協会・刀剣博物館蔵)

脇指 銘 加藤助太郎綱英 父国秀彫
文化五年四月(部分)
(赤羽刀、米沢市上杉博物館蔵)

鍔刀も、刀身彫もできる
加藤一門の作!

開館25周年記念コレクション展

旅する米沢藩 ～参勤・遊学・物見遊山～

会 期 令和9年2月13日(土)～3月22日(月・祝)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
料 金 一般500(400)円 高大生300(240)円 小中生200(160)円
※()は20名以上の団体料金

米沢藩の旅の内容を館蔵資料から探る!

江戸時代は、街道などの交通網の整備・発達によって、旅が大衆文化として民衆にまで浸透した時代でした。旅の目的は、藩主が江戸と国元を行き来する参勤交代のほか、江戸や京都、長崎といった学問の先進地に学び行く遊学、湯治や伊勢神宮などへの参詣といった物見遊山・巡礼など、実に様々でした。本展では、米沢藩の旅の様相について、館蔵資料をもとに参勤・遊学・物見遊山の三つのテーマから紹介します。



香坂伊六道中日記(米沢市上杉博物館蔵)

大名行列絵図(部分)
(米沢市上杉博物館蔵)

年間テーマ 西からの手紙

国宝 上杉本洛中洛外図屏風
9月19日(土)～10月18日(日) 文華館にて展示

国宝「上杉家文書」には、戦国時代の越後長尾・上杉氏宛の書状が数多く収められています。これらの書状は、「書札礼」という当時の社会的身分に応じた書き方をふまえて作成されています。2026年度の上杉文華館では、越後より西の地域の諸勢力から長尾・上杉氏に送られた書状を対象として、書札礼の特徴やその社会的関係を明らかにしていきます。関東や奥羽などの東国の大名や国衆らから長尾・上杉氏に宛てられた書状、長尾・上杉氏の書状などとの比較なども通してみていきたいと思います。

※各回のテーマ等は8ページをご覧ください。

(元龜元・1570年)10月8日酒井忠次書状
国宝「上杉家文書」(米沢市上杉博物館蔵)



置賜文化ホール

12/13 ⑤ 人形劇団ひとみ座 「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」

14:00開演(13:30開場、15:15終演予定)

ふしぎでゆかいな銭天堂の世界が人形劇でやってくる!

「ひょっこりひょうたん島」の人形操演でおなじみのひとみ座が、人気児童書を舞台化。悩みを抱えて「銭天堂」に迷い込んだ子どもたちは、店主・紅子から買った不思議な駄菓子で夢を叶えます。しかし、欲張りすぎると思わぬ結末が待ち受けることも…。迫力ある演技や、ライバル・よしみとの熱い対決も必見! 子どもから大人までみんなで楽しめます。

チケット情報

*全席指定

チケット販売中

一般 2,000円

小中学生 1,000円

子ども(未就学児) 500円



令和9年

3/14 ⑤ LEO×ワルター・アウアー デュオ・リサイタル

14:00開演(13:30開場、16:00終演予定)

邦楽×クラシック ジャンルを超えた音楽の世界へ

伝統を受け継ぎながら箏の新たな表現を切り拓く若手実力派・LEO(今野玲央)と、ウィーン・フィル首席フルート奏者ワルター・アウアーによる夢の競演。邦楽ではフルートが尺八のように、クラシックでは箏がピアノやハープのように響き合い、異なる楽器が美しく融合します。ジャンルを超えて生まれる唯一無二のハーモニーと、二人が紡ぐ豊かな音楽世界を存分にお楽しみください。

チケット情報

*全席指定

発売日:12月10日9:00～

一般 3,000円

学生(U-24) 2,000円



©日本コロムビア



▼ 伝国の杜通信 市民の皆様とつくる伝国の杜の活動、いろいろー

その1

伝国の杜を気軽に楽しむ!

伝国の杜ファンクラブ

令和8年度新規会員募集中

伝国の杜ファンクラブとは?

米沢市上杉博物館と置賜文化ホールを満喫しながら応援するクラブです。展示会を何度も観られたり、ショップやカフェをお得に利用できたり、ホールの公演で良いお席が取れたり、うれしい特典がいっぱい!

年会費 ※10月以降は半額になります。

一般会員 2,500円 → 1,250円

学生会員 1,000円 → 500円

ジュニア会員 500円 → 250円

知りたい!ー活動レポート&予告ー

令和8年第1回会員事業

「グラスハーブ演奏ワークショップ」

グラスハーピスト・大橋エリさんを迎え、ワークショップを開催しました。

楽器の歴史背景や特徴、奏法を学び、神秘的な音色に感動。実際に触れて奏でる難しさも実感しながら、コツを習いグループ別のミニコンサートまで。誰もがその魅力に引き込まれました。



(予告) 12月12日(土)、1月11日(月祝)

「刀剣鑑賞講座」開催予定!

講師: 日刀保 米沢支部

12月5日から開催する企画展「郷土刀の世界」に合わせ、会員のみの講座を開催予定。支部会員愛蔵の刀剣から基礎知識、マナー、鑑賞のポイントを知り、刀剣鑑賞の世界を堪能します。



その2

伝国の杜で自分のスキルを活かす!

伝国の杜サポーター

令和8年度新規サポーター募集中

伝国の杜サポーターは、博物館や米沢市内のインフォメーションやホールのレセプションистなど6つの分野で、施設と利用者をつなぐ担い手として活躍しています。

あなたのスキルをぜひ伝国の杜でいかしてみませんか?

活動内容を詳しく知りたい方は、サポーター担当までお問い合わせください。

最新情報



お問合せ

0238-26-8000 サポーター担当

知りたい!ー活動レポートー

教育普及サポーターでは、事前の勉強会を踏まえて、参加者の造形体験をサポートしていただきました。丁寧なサポートのおかげで、参加者の皆さんは楽しいひと時を過ごすことができました。



よねざわ市民ギャラリー自主事業「中村隆行ペーパークラフトの世界」の開催準備にあたって、有志のサポーターから写真資料の選定作業や、ご自宅にある昭和時代の懐かしい家庭用品をご出品いただきました。昔の米沢の街並みの写真を見て、思い出話に花を咲かせながら楽しく準備を進めることができました。



その3

伝国の杜で伝統芸能を体験!

こども狂言クラブ

こどもたちの舞台衣裳の裏事情

2001年の活動開始から数年間、「こども狂言連続講座」の成果発表では、地元の能楽関係者が私物の着物や角帯、袴を持参して子どもたちに着付けてくれました。しかし、大人用のため、小さな体格に合わせるために折り曲げたり縫い合わせたり。子どもにとってはとても重く、見た目にも「衣裳が動いてるみたいだなあ」…なんて心配の声も。そこで、お稽古を頑張る子どもたちを前に、衣裳購入の必要性について意見交換が行われました。

聞きたい!ー子どもたちと保護者の25年の想いー

2005年、寄付金を活用して米沢織子ども用袴を各サイズを誂えていただき、現在も使用しています。このことをきっかけに、保護者や卒業生の有志団体「狂言クラブうきたむ」が発足し、着物の扱いや着付けに慣れて後年にも繋いでいこうと活動をスタート。着物は寄贈品など古いものに手を入れ再利用、角帯は市販品や手作り品を使用しています。



舞台衣裳はストーリーの一部

(報告) 着物と袴の着付け講習

自分で着物を着れる人になりたい

伝国の杜では、自分で着れるようになりたい子どもの心の成長を助けつつ、発表時に着付けのご協力をお願いできる方を求めています。



袴の前紐を持って左足から先に

Topic | ミュージアムショップ

特別展

「上杉鷹山と米沢の学び舎」 公式図録発売!!

本紙P4で紹介している展示内容のより詳しい解説や、コラムも収録。藩校「興譲館」の歴史のほか、初めて一般公開される市内の学校に伝わる貴重な資料も掲載。米沢の教育の伝統を知ることができる特別な1冊です。



A4版 112P ¥2,420(税込)

学びのそばに『なせばなるボールペン』はいかが？



¥1,760 (税込)

上杉鷹山が家臣に説いた「なせばなる」の和歌を印字した多機能ボールペンは、なめらかな書き心地で大人気! 日々の勉強や仕事にぜひご活用ください。

最新情報



Topic | よねざわ市民ギャラリー

米沢市上杉博物館所蔵 郷土作家のコレクションを展示しています。

オープンギャラリー

10月23日(金)～令和9年1月27日(水)

「かたちという」

令和9年1月29日(金)～4月21日(水)

「春を待ちわびて」



AMO2026大賞 今村愛子展・グループ展

令和9年3月13日(土)～3月22日(月祝)

置賜にゆかりのある作家によるジャンル、世代などの垣根を超えたユニークな展覧会。今年は、昨年度の大賞受賞者の個展と過去の受賞作家によるグループ展を開催予定。

伝国の杜 上半期イベントレポート

博物館

開館25周年記念特別展

「上杉謙信と川中島合戦」講演会

5月30日(土)に行われた開館25周年記念特別展「上杉謙信と川中島合戦」の講演会では会場いっぱいの方にご参加いただき、盛況な会となりました。

また、講演会の後には講師の村石正行先生のサイン会を実施し、村石先生の著書『検証 川中島の戦い』や公式図録にサインを書いていた、好評のうちに終了しました。



博物館

伝国の杜25周年記念スペシャルプログラム

ナイトツアーようこそ夜の博物館へ

sony star sphere プロジェクト×星のソムリエ®

星の煌き観望会 を開催しました

8月21日、SONYstar sphereプロジェクト事業開発担当 見座田圭浩氏と星のソムリエ®による「星の煌めき観望会」を開催しました。star sphereは、人工衛星EYEで一般人が撮影した地球の映像を通して、宇宙から地球を見る視点を体験。星のソムリエ®によるMITAKA 3Dで宇宙をめぐり、最後は望遠鏡で実際の星や月を観察しました。宇宙から地球を見る体験と夜空を見上げる体験を組み合わせ、さまざまな角度から宇宙を感じる時間となりました。「宇宙の奥深さを感じた」「普段体験できない内容で面白かった」などの声が寄せられました。



星のソムリエ®による望遠鏡を使った星空案内

ホール

開館25周年記念自主事業

柳亭小痴楽・桂宮治 二人会

6月14日(日) 14:00開演

桂宮治さんは「ちりとてちん」を熱演。明るく勢いのある高座に会場は終始大爆笑。嫌味な男が意地を張って珍味を食べる巧みな所作も大きな見どころとなりました。柳亭小痴楽さんは「井戸の茶碗」をじっくりと演じ、笑いと人情あふれる一席を披露。

終演後は「初めて落語を見て好きになった」「また来たい」といった声も多く寄せられました。伝統芸能の魅力と笑いにあふれた、思い出深いひとときとなりました。



ホール

開館25周年記念自主事業

一期一会 一天使の歌声、地の響き—大橋エリ グラスハープコンサート

7月4日(土) 18:30開演

能舞台がある風景をいかした当館ならではのオリジナル企画。グラスハープの体験演奏コーナーを交え、大橋エリ(グラスハープ)、北口大輔(チェロ)、小林奏貴(舞)の3人が織りなす初めての舞台作品の美しさに会場中が惹き込まれました。



9

展覧会

G : ギャラリートーク(企画展示室展示解説) 講 : 講演会 C : コレクショントーク(上杉文華館展示解説) 各回 14:00~

企画展示室

開館 25 周年記念特別展

上杉鷹山と米沢の学び舎

ー藩校「興譲館」から近代の学校へー

前期

9/19(土)

G 9/19(土)

「上杉鷹山・細井平洲と藩校興譲館の教育」
14:00 ~ 要入館料

10/18(日)

休館日
9/24(木)
10/28(水)

G 10/24(土)

「江戸時代の藩校から近代の学校へ」
10:00 ~ 要入館料

後期

10/24(土)

11/23(月祝)

11/3(月祝) 東北文化の日【どなたでも無料】

講 11/14(土) 14:00~16:00

聴講
無料

「学校の文化資源
ー「歴史を語るモノ」を超えてー」
和崎光太郎 氏
(桜の聖母短期大学教授・
元京都市学校歴史博物館 学芸員)

開館 25 周年記念企画展

郷土刀の世界 一刃に、美を継ぐー

12/5(土)

G 12/5(土)

ゲストギャラリートーク
井本悠紀氏
(國學院大學大学院文学研究科兼任講師)
10:00 ~ 要入館料

R9年

1/17(日)

休館日
毎週月曜日
(祝日の場合は翌日)
年末年始
(12/27 ~ 1/1)

開館 25 周年記念 コレクション展

旅する米沢藩

~参勤・遊学・物見遊山~

2/13(土)

G 2/13(土)

14:00 ~ 要入館料

3/22(月祝)

休館日
毎週月曜日
(祝日の場合は翌日)

G 3/13(土)

14:00 ~ 要入館料

常設展示室上杉文華館

年間テーマ

「西からの手紙」

北陸の大名(2)

9/25(金) ~ 10/27(火)

C 10/4(日)

上杉本洛中洛外図屏風
原本展示
9/19(土) ~ 10/18(日)



中国地方の大名

10/29(木) ~ 11/24(火)

C 11/1(日)

織田氏の書状

11/26(木) ~ 12/20(日)

C 12/6(日)

徳川氏の書状

12/22(火) ~ 純9年1/24(日)

C 1/10(日)

豊臣氏の書状

1/26(火) ~ 2/21(日)

C 2/7(日)

公家の書状

2/23(火) ~ 3/28(日)

C 3/7(日)

教育普及事業

募集制 WS

つくろう ナイトツアー
みつけよう アウトリーチ
どれも
要事前申込 / 有料

自由
参加制
WS

9/13(日)

13:30 ~ 16:00
郷土玩具のひみつ
張り子でつくろう

9/25(金)

19:00 ~ 20:30
国宝上杉本洛中洛外図屏風を楽しむ

10/4(日)

13:30 ~ 16:00
たのしい紙すき

10/10(土)

①10:30 ~ ②13:30 ~
「むかしむかしをきこう②」

11/3(火祝)

10:00 ~ 12:00
誰も知らない博物館 バックヤードツアー

12/18(金)

19:00 ~ 20:30
ようこそ夜の博物館へ
入門 日本刀鑑賞

1/9(土)

13:30 ~ 16:00
美しい日本の技
漆芸の技に挑戦!

2/21(日)

13:30 ~ 16:00
レジンの宇宙
地球ペンダントをつくろう

ホール

こども狂言クラブは1年を通して活動
しています。見学や体験を希望される
方は事前にご連絡ください。

9/13(日)
開館25周年記念
能楽の祭典

10/11(日)
吹奏楽の日コンサート2026

11/3(火祝)
開館25周年記念
上杉家旧蔵の翁で寿く能・狂言

11/21(土)
KENSYO de JAZZ
~So Soul State~

12/13(日)
開館25周年記念
人形劇団ひとみ座
ふしぎ駄菓子屋銭天堂

3/14(日)
開館25周年記念
LEO×ワルター・アウアー
デュオリサイタル

3/21(日・祝)
伝国の杜こども狂言クラブ
春休み発表会

◆利用案内◆

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
0238-26-8000(代表)
0238-26-8001(米沢市上杉博物館)
0238-26-2666(置賜文化ホール)
0238-26-2660(FAX)



博物館開館時間: 9:00-17:00(入館は16:30まで)

博物館休館日 : 4月-11月 第4水曜日(休日の場合はその直後の平日)
12月-3月 毎週月曜日(休日の場合はその直後の平日)
年末年始(12/27~1/1) ※1/2~開館予定。

ホール休館日 : 毎週月曜日(休日の場合はその直後の平日) / 年末年始

※休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので、詳細はお問合せ下さい。

博物館入館料 : 常設展 一般410(330) 高大生210(150) 小中生110(60)
()は20名以上の団体料金
※特別展・企画展は別途
※特別展開催期間は常設展と特別展一体型の料金になります。

■発行/米沢市上杉博物館 置賜文化ホール ■編集/公益財団法人 米沢上杉文化振興財団 ■発行日/令和8年9月 ■印刷/羽陽印刷

座の文化伝承館からのお知らせ

米沢市座の文化伝承館の一部改修工事のため、下記の期間、全館休館することになりました。休館中は令和9年度の予約受付等をはじめとするお問い合わせについて、下記問合せ先へご連絡ください。

休館期間: 令和8年10月1日~令和9年3月31日
問い合わせ先: 伝国の杜 (TEL0238-26-2666)



▲米沢市上杉博物館note



▲ホームページ



▲博物館X



▲ホールX